

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

西区の中でも高齢化率が高い地域。ひとり暮らしの高齢者人口も多い。山坂や階段が多い地域であったりコロナ禍であることから外出できない高齢者が多い。身近な場所での居場所づくりや生きがいがづくりが課題となっている。コロナ禍を踏まえたつながりづくりが出来るように少人数で活動していけるようなグループ作りを行う。

今年度の重点的な取組

新規	継続
----	----

—具体的な取組内容—

- | | | |
|-------------------------------------|--------------------------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | より身近な地域で介護予防やいきがづくりが実施出来るように地域に出向いていきます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 集合住宅における見守りシステムの構築を支援していきます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 認知症の理解と対応の方法を地域住民に広めて行きます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 少人数で実施できる介護予防のグループ作りを支援します。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 地域のインフォーマルサービスや地域資源をケアマネジャーに紹介し、支援していきます。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- 坂の上にある自治会などケアプラザに来ることが難しい地域の方に向けて、その場に出向き介護予防講座と権利擁護講座を行いました。
- 集合住宅における見守りシステムを構築するために、地域にお住まいの有志の方と共に、定期的に会議の場を持ち地域の現状や課題、今ある「見守り活動」について共有しました。
- 認知症の方への対応方法や認知症の理解を深める為の講座を実施しました。また参加者同士が意見交換をする場を設定しました。
- 地域の方と共に介護予防を目的とした元気づくりステーションを新たに立ち上げました。
- 介護予防従事者研修でケアマネジャー向けにインフォーマルサービスやサービスBの紹介をし、介護サービスを利用しながらも地域の中で暮らし続けられるよう支援しました。

区からのコメント

コロナ禍で様々な制約がある中、地域ケアプラザ運営にご尽力いただき、ありがとうございます。地域ケアプラザに来所することが難しい地域住民に向けた介護予防講座・権利擁護講座の実施や、集合住宅における見守り活動への支援など、地域の困りごとの解決に向けて、各職種がそれぞれの視点をもって6職種で連携を図りながら、課題解決や新たな事業展開に取り組んでいる点は大変効果的であり、成果を挙げていると考えます。また、ICTを活用したオンライン相談も積極的に進めることで、新しい相談の形を利用者へ提供することができています。今後も地域の身近な拠点として、様々なニーズをとらえながら、「地域共生社会」の実現に向けた取組の推進に期待します。